

1. 調査報告概要表

作成日 平成21年4月3日

【認知症対応型共同生活介護用】

【評価実施概要】

事業所番号	2790900084
法人名	社会福祉法人 香西会
事業所名	グループホームティアラ
所在地	高槻市大冠町2丁目19番1号 (電話) 072-676-1901

評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺1丁目1番54号 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成 21年 3月 18日

【情報提供票より】(平成 21年 3月 3日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 20年 5月 1日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	12人	常勤 1人, 非常勤 11人, 常勤換算	6.53人

(2) 建物概要

建物構造	木造亜鉛メッキ銅板葺き平屋 造り		
	1階建ての	1階 ~	1階部分

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	42,000円	その他の経費(日額)	39円/1日
敷金	有(円) ④		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) ④	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,400円		

(4) 利用者の概要 (平成 21年 3月 3日現在)

利用者人数	9名	男性 1名	女性 8名
要介護1	2名	要介護2	2名
要介護3	3名	要介護4	2名
要介護5	0名	要支援2	0名
年齢	平均 83歳	最低 76歳	最高 89歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	第一東和会病院、鍋島クリニック、阿部歯科医院
---------	------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

社会福祉法人が運営する親しみやすい民家風平屋建てのグループホームは、淀川の堤防に近く、農家もある緑に恵まれたのどかな地域に立地しており、小規模多機能型居宅介護事業所を併設しています。開設時に職員が話し合っただけで決めた「あなたが主役の生き生き生活・家族と歩む安心ケア・誰もががくつろげるほのぼのの縁側」を理念とし、職員は家族や地域の人達の協力を得て、利用者一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向に沿うよう支援し、やさしい雰囲気です。利用者は小規模多機能型居宅介護事業所の利用者とも交流を図っています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連科目:外部4) 今回は初めての外部評価受審です。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は管理者・計画作成担当者・フロア主任で案を作成し、回覧して職員の意見を取り入れ、認識の共有化を図り、サービスの具体的な改善に取り組もうとしています。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は地域包括支援センター管理者、自治会長、民生委員、利用者、家族の参加のもとで、3ヶ月毎に開催しています。会議ではホームの活動状況や行事、利用者の生活ぶり等を報告しています。地域住民へ事業所アピールとしてチラシの配布を決めたり、地域行事への参加、ボランティア募集の強化策などについても話し合っています。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族との面会時には、利用者の生活ぶりや連絡事項を伝え、利用者の医療や安全に関わる事項については、その都度電話で家族に報告しています。アルバム委員が工夫をして作った行事写真を購入してもらうことや、季刊紙「ティアラ新聞」を発行し家族に送付する予定をしています。家族とは面会時だけでなく、運営推進会議でも話し合い、家族が思いや希望、不満を表現できるように対応しています。家族とは、新たに3ヶ月毎にカンファレンスに参加してもらい話し合いをする予定です。ご意見箱も設置して家族が意見を表出できる機会を設けています。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) ホームを開設してまだ1年あまりですが、行政や地域との関係を重視し、その理解と協力を得るため、計画段階から地道に対応してきた努力が実りつつあり、地域との関係は良好に推移しています。地域の盆踊りや草刈り、公園の掃除や老人会地区の墓掃除に参加したり、古紙回収に協力したり、自治会と話し合っただけで介護相談室を開催し、地区にある小学校の運動会への参加や、体験学習を受け入れています。近隣住民からお花をいただき、また大正琴やハーモニカの演奏、将棋のお相手などのボランティアを受け入れています。

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開設時に職員が話し合っで決めた「あなたが主役の生き生き生活・家族と歩む安心ケア・誰もがくつろげるほのぼの縁側」を理念とし、職員は家族や地域の人達の協力を得て、利用者一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向に沿うよう支援し、やさしい雰囲気です接しています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	月1回定例のスタッフ会議やケア向上委員会、また毎日の業務等を通じて理念を共有し、介護サービスに反映させるよう話し合っています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに務めている	ホームを開設してまだ1年あまりですが、行政や地域との関係を重視し、その理解と協力を得るため、計画段階から地道に対応してきた努力が実りつつあり、地域との関係は良好に推移しています。地域の盆踊りや草刈り、公園の掃除や老人会地区の墓掃除への参加、古紙回収の協力や、自治会と話し合い介護相談室を開催しています。地区の小学校の運動会への参加や体験学習の受け入れも行っています。近隣住民からお花をいただいたり、大正琴やハーモニカの演奏、将棋のお相手などのボランティアを受け入れたりしています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	今回が初めての外部評価受審です。自己評価は管理者・計画作成担当者・フロア主任で案を作成し、回覧して職員の意見を取り入れ、認識の共有化を図り、サービスの具体的な改善に取り組もうとしています。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は地域包括支援センター管理者、自治会長、民生委員、利用者、家族の参加のもとで、3ヶ月毎に開催しています。会議ではホームの活動状況や行事、利用者の生活ぶり等を報告しています。地域住民へのアピールとしてチラシの配布を決めたり、地域行事への参加、ボランティア募集の強化策などについても話し合っています。	○	運営推進会議は年6回、もしくは概ね2ヶ月に1回開催することが求められます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	管理者とケアマネジャーは高槻市の担当職員と相談や意見交換をし、市と足並みをそろえてニーズに対応しています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族との面会時には、利用者の生活ぶりや連絡事項を伝え、利用者の医療や安全に関わる事項については、その都度電話で家族に報告しています。アルバム委員が工夫をして作った行事写真を家族に購入してもらうことや、季刊紙「ティアラ新聞」を発行し家族に送付する予定をしています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族とは面会時だけでなく、運営推進会議でも話し合い、家族が思いや希望、不満を表せるように対応しています。家族とは、今後新たに3ヶ月毎にカンファレンスに参加してもらい話し合いをする予定です。ご意見箱も設置して家族が意見を表出できる機会を設けています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ホーム開設時には母体法人より経験のある職員を数名派遣しています。しかし、新規採用職員の退職を補うため、更に数名の職員を追加で派遣し、異動の影響を抑える努力をしています。利用者と職員の会話や笑顔、雰囲気から利用者とは馴染みのある良好な関係が感じられます。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者はホーム開設時に新規採用職員の研修を実施し、母体法人での全職員に対する統一研修を受講させていますが、記録は残っていません。ホーム内には、定例かつ計画的な外部研修や内部研修に参加する仕組みがなく、繁忙なこともあり研修の実績はほとんどありません。	○	職員の研修については年間計画をたて、「感染症」「緊急時対応」「認知症」のテーマを含めて年6回以上実施することが求められます。うち2回以上は外部研修を実施することが求められます。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	高槻市の研修会やケアマネジャー連絡会に参加して情報交換をしています。ホーム開設にあたり、市内のグループホームと交流を実施しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前には職員が入所施設や家庭を訪問し、利用者の家庭環境や生活歴などを把握しています。また本人や家族にホームへ来訪してもらい、他の利用者との交流の場をつくることでホーム内での馴染みの関係をつくり、家族や本人の不安を取り除き、安心して入居しサービスを受けられるよう取り組んでいます。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学び支えあう関係を築いている	職員は利用者と共に過ごし、学び支えあう関係を目指した支援をしています。字を書くのが好きな利用者は、翌日のメニューを書いて発表する役割をこなしています。元日本舞踊の先生は、民謡に合わせて声で調子をとって雰囲気をつくっています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者のアセスメントについては、ケアチェック表等を使って記載していますが、暮らし方の希望や思いについては把握が十分とはいえない状況です。また、毎日の生活を通じて得られる利用者の生活歴や暮らし方の意向などについても、新たな気付きの記録と見直し・整理が十分でなく、利用者一人ひとりの暮らしや楽しみ方の希望が十分には把握できていない状況です。	○	毎日の生活を通じて得られる利用者の生活歴や暮らし方の意向など、新たな気付きを記録し、また見直し・整理を行い、日々のケアや暮らし、楽しみに生かしていくことが求められます。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	アセスメント情報や利用者の現在の暮らし、心身の状況を把握するとともに、医師や看護師の意見、家族の意向を聞き、利用者と家族の意向・願いを反映した介護計画を作成しています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は定期的には6ヶ月毎に、また状態の変化がある時はその都度見直しを行っています。ケアマネジャーはケース記録や職員の意見をもとに3ヶ月毎にモニタリングし、サービス担当者会議を開いて、介護計画の見直しをしています。しかし各利用者を担当している職員のモニタリング記録がなく、今後実施をすることが望まれます。また現在計画の家族との話し合いについて、サービス担当者会議を活用してはいかがでしょうか。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々 の要望に応じて、事業所の多 機能性を活かした柔軟な支援 をしている	隣接して併設している小規模 多機能居宅介護事業所の利用 者と交流しています。地域と 話し合っ て介護相談室を開いています。 地域のボランティアより楽器 演奏や将棋相手など、利用者 に楽しみごとを提供して もらっています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切 にし、納得が得られた、かか りつけ医と事業所の関係を築 きながら、適切な医療を受け られるように支援している	医療連携しているクリニック からの医療と、職員として配 置されている看護師からの 看護を受けています。診療科 目によっては入居以前からか かりつけの医療を受け、必 要によっては通院介助を行っ ています。協力病院と連携し 、夜間や急変時の対応につ いての体制も整備されていま す。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方 針の共有 重度化した場合や終末期の あり方について、できるだけ 早い段階から本人や家族等 ならびにかかりつけ医等と 繰り返し話し合い、全員で 方針を共有している	現在対象者はありませんが、 今後は重度化している利用 者と家族、医師とともに話 し合い、情報を共有しながら 状況の変化に対応していく 予定です。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりを人生の先輩として尊重し、職員は言葉かけや態度は明るく丁寧で、やさしい雰囲気です。職員採用時には、個人情報の取り扱いについて法人と書面を取り交わしています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の生活リズムに配慮し、利用者のペースでゆったりと暮らせるよう支えています。職員が利用者を制止したり、急かしたりする言葉はなく柔軟な対応をしています。朝食の時間などについて、利用者のペースを大切にしながら支援しています。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	クックチル方式（加熱調理した食品を短時間に急速冷却して、チルド保存し、必要な時に再加熱するシステム）で保存・搬送された調理済みの食材を利用しています。職員は同じ物を食べながら、利用者の食べ方の混乱や食べこぼしに対するサポートをさりげなく行い、会話をしながら楽しくなごやかな雰囲気を作っています。週1回は利用者も参加し、利用者の好みの食べ物を作り楽しんでいます。菜園で育てた野菜が食卓にのることもあります。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週に3回、小規模多機能居宅介護事業所の大風呂でゆったりとした入浴をしています。季節に合わせて柚子風呂などの行事風呂を楽しむこともあります。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者それぞれが写経やドリルをしたり、パズルをしたりして楽しんでいます。利用者が協同で季節毎の風物・行事のちぎり絵を作成し、また絵手紙にして壁に飾っています。訪ねてくる友人・知人と会話をしたり、併設の小規模多機能型居宅介護事業所の利用者と将棋の対局をしたり、地域のボランティアによる楽器演奏を楽しむなどの気晴らしをしています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	淀川の堤防に近く農家もあって、緑に恵まれたのどかな地域で、地藏さんや小学校も近く、日常的に周辺散歩をするところは多くあります。季節の花見や外食、地域の行事にも出かけて楽しんでいます。外出委員会を設け利用者一人ひとりの希望を聞いて、個別の外出に対応していく計画もあります。今後は外出支援について、できれば計画的に実施することが望まれます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関には日中施錠はなく開放されています。外出願望には、職員の見守りで対応しています。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回、うち1回は消防署の指導で避難訓練を実施しています。非常・災害時の食料品と水の備蓄については実施していません。	○	非常・災害時に備えて2～3日分の食料品や水を備蓄することが求められます。また備蓄については「非常用備蓄マニュアル」や「備蓄品リスト」等を作成し、備蓄管理をされてはいかがでしょうか。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日の食事摂取量と水分摂取量を把握し記録をとっています。栄養バランスについては、食材業者の管理栄養士のアドバイスを受けています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	親しみやすい民家風平屋の建物の玄関口やベランダには季節の花が植えられています。ダイニング・リビングルームは吹き抜け構造で、天井も高く明り取りの天井窓もあって、明るくて広く開放感があり、ソファ、椅子、ベンチがうまく配置され、利用者が落ち着ける居場所となっています。室内の家具・調度品や壁に飾られた手作り作品が、家庭的で季節感のある落ち着いた雰囲気を作っています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者は整理ダンス、収納ケース、机、椅子、遺影、装飾品、家族の写真等使い慣れた馴染みのある物を居室に持ち込み、落ち着き安心して生活を送れる空間になっています。ただ、開設後1年あまりしか経っていないこともあり、一部の居室では持ち込みの家具等がほとんどなく、もの淋しい雰囲気となっています。今後は利用者や家族と相談し、家族の支援を得ながら、使い慣れた馴染みの物や生活用品を持ち込み、利用者が居心地よく過ごせる居室作りへの取り組みが望まれます。		